

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第5区分  
 【発行日】平成25年8月1日(2013.8.1)

【公表番号】特表2012-530853(P2012-530853A)  
 【公表日】平成24年12月6日(2012.12.6)  
 【年通号数】公開・登録公報2012-051  
 【出願番号】特願2012-516312(P2012-516312)  
 【国際特許分類】

A 4 1 H 43/04 (2006.01)  
 A 4 1 D 27/24 (2006.01)  
 A 4 1 D 1/02 (2006.01)  
 A 4 1 D 1/04 (2006.01)

【F I】

A 4 1 H 43/04 Z  
 A 4 1 D 27/24 D  
 A 4 1 D 1/02 A  
 A 4 1 D 1/04 Q

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月14日(2013.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

両方の先端、対向する上縁および下縁を有する弾性バンドに歪みを付与して維持する工程 a と、

前記弾性バンドの前記歪みを維持した状態で、前記弾性バンドの下縁を、上衣の縁部に取り付ける工程 b と、

前記両方の先端を、互いに取り付ける工程及び前記上衣に取り付ける工程の少なくとも一方を行なう工程 c と、

前記弾性バンドに付与された前記歪みを取り除いて、プリテンション弾性バンドおよびプリテンション上衣縁を形成する工程 d とを備える方法。

【請求項2】

対向する内面および外面、ウエスト縁、襟縁、ならびに一对の袖縁を有する上衣本体と、

対向する第一上縁および第一下縁、ならびに両方の第一先端を有する第一プリテンション弾性バンドとを備える上衣であって、前記第一下縁は、前記ウエスト縁に取り付けられて、第一プリテンション上衣縁を形成し、前記第一上縁は、前記上衣本体の内面に隣接して配置されるとともに、前記上衣本体の内面から離間するように傾斜している上衣。

【請求項3】

前記両方の第一先端は、互いに取り付けられること及び前記上衣本体に取り付けられることの少なくとも一方を施され、前記第一先端の一方又は両方と、前記第一下縁とは、縫合、溶着、接着、およびそれらの組み合わせの少なくとも一つによって取り付けられ、前記上衣はジャケット又はジャージを構成する請求項2に記載の上衣。

【請求項4】

前記第一上縁および前記第一下縁は異なる張力を有し、前記第一プリテンション弾性バ

ンドが前記上衣本体の着用者と前記上衣本体との間に配置された時に、前記着用者と前記第一プリテンション弾性バンドとの間にシールを形成するように、前記第一プリテンション弾性バンドには予め張力が付与され、前記シールは、前記第一プリテンション弾性バンドと前記着用者との間の空気流を防止し、前記プリテンション上衣縁のウエスト縁は、平滑であるとともに、しわおよび通路を備えていない請求項2に記載の上衣。

【請求項5】

前記第一上縁の少なくとも特定の部分は前記上衣本体に取り付けられる請求項2に記載の上衣。

【請求項6】

前記第一上縁は、上衣縫合線が前記第一プリテンション弾性バンドに交差する一つ以上の部位の周囲において、前記上衣本体に取り付けられ、前記上衣は、第二プリテンション弾性バンドおよび第三プリテンション弾性バンドの少なくとも一方を備え、

前記第二プリテンション弾性バンドは、対向する第二上縁および第二下縁、ならびに両方の第二先端を有し、前記第二プリテンション弾性バンドは、前記襟縁および前記袖縁のうち的一方に取り付けられて、第二プリテンション上衣縁を形成し、前記第二プリテンション弾性バンドは前記上衣本体の内面に隣接して配置され、前記両方の第二先端は、互いに取り付けられること及び前記上衣本体に取り付けられることの少なくとも一方を施され、前記第二先端の一方又は両方と、前記第二下縁とは、縫合、溶着、接着、およびそれらの組み合わせの少なくとも一つによって取り付けられ、

前記第三プリテンション弾性バンドは、対向する第三上縁および第三下縁、ならびに両方の第三先端を有し、前記第三プリテンション弾性バンドは、前記襟縁および前記袖縁のうち他方に取り付けられて、第三プリテンション上衣縁を形成し、前記第三プリテンション弾性バンドは前記上衣本体の内面に隣接して配置され、前記両方の第三先端は、互いに取り付けられること及び前記上衣本体に取り付けられることの少なくとも一方を施され、前記第三先端の一方又は両方と、前記第三下縁とは、縫合、溶着、接着、およびそれらの組み合わせの少なくとも一つによって取り付けられる請求項5に記載の上衣。

【請求項7】

前記歪みは、機械、装置、又は機器によって機械的に付与される請求項1に記載の方法。

【請求項8】

付与される歪みは、前記弾性バンドを、その歪む前の長さの少なくとも1.25倍に伸長させる請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記工程aの後、かつ前記工程bの前において、前記上衣の内面に前記弾性バンドを配置する工程eをさらに備える請求項1に記載の方法。

【請求項10】

前記歪みを付与すると同時に、前記上衣の内面に前記弾性バンドを配置する工程eをさらに備える請求項1に記載の方法。

【請求項11】

前記上衣に前記弾性バンドを配置する工程の少なくとも一部の間に、前記歪みを前記弾性バンドに付与する請求項10に記載の方法。

【請求項12】

前記工程aにおいて前記弾性バンドに付与され、かつ前記工程bにおいて維持される前記歪みは、前記弾性バンドを、その歪み前の長さの1.01倍から2.0倍に伸長させる請求項1に記載の方法。

【請求項13】

前記付与された歪みが前記弾性バンドから取り除かれる工程において、前記上縁は、5度から45度までの傾斜角度だけ、前記上衣から離間するように傾斜する請求項1に記載の方法。